

EMS導入までの流れ/導入事例

■ EMS導入までの流れ



■ 導入事例

● A社 (ドラッグストアチェーン)

A社は「エネ達」を導入し、自動制御で空調の電力消費削減を図りつつ負荷系統別の電力データを検証した結果、想定以上に冷蔵・冷凍機器の使用電力が多いことが判明しました。



そこで平成26年度に、補助金を活用し38店舗で高効率な冷蔵・冷凍設備に設備を更新、併せて、使用電力量に占める比率が高い店舗照明のLED化を44店舗で実施するとともに、EMS「エネ達3」を導入することで、店舗全体のエネルギー使用状況を負荷系統別にモニタリングできるようにしました。

● B社 (オフィスビル)

平成23年に4物件にEMSを導入し使用電力量の削減効果を検証、空調の自動制御により、空調系統負荷部分の18~22%の削減効果を確認しました。



そこで、平成24年には補助金を活用し、163物件にEMSを追加導入し空調の自動制御と照明の節電取組みを進めた結果、基準年比で使用電力量の△15.3%の削減を達成しました。

●クラウドEMS「エネ達3」機器製造・サービス提供

●お問い合わせ先

 **EMI株式会社**
Energy and Materials
Innovation Group, Inc.

<本社> 〒101-0047
東京都千代田区内神田1-4-15 新誠ビル4F
TEL:03-3291-5571 FAX:03-3291-5572
<関西> 〒542-0081
大阪府中央区南船場4-6-10 新東和ビルA棟6F
TEL:06-4708-5337 FAX:06-6281-0535

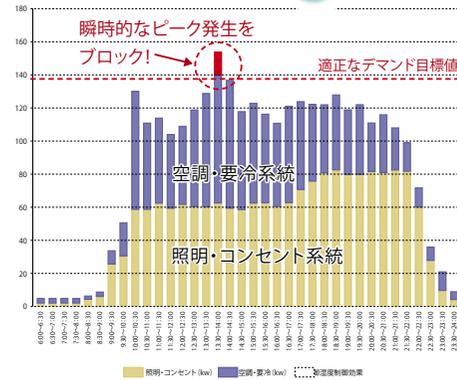
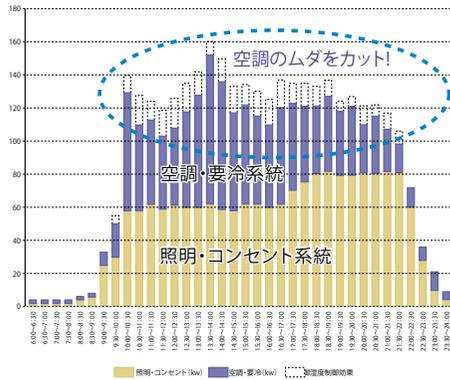
<http://www.emi-group.co.jp>

クラウドEMS エネ達3
中小オフィス・店舗の省エネ/コスト削減を実現します



クラウドEMS エネ達3 が提供する 3つのサービス

自動制御で確実な省エネとピークカット



1 温度・湿度基準制御サービス

温湿度データを元に空調を制御し使用電力量を削減

温湿度のリアルタイムデータを元に、実行する空調の制御量を毎回計算します。固定値で制御する仕組み（サイクリック制御）と違い、室内環境を常にモニタリングするので、物販や飲食店舗などでも安心です。

2 デマンド制御サービス

ピーク使用電力引き下げで契約電力を圧縮

基本料金は当月を含む過去1年間の30分値ピーク使用電力（＝デマンド値といいます）で決まります。電力量を常時計測しデマンド値を予測、目標値を超えないように空調稼働を制御することで、過大なピーク発生を防ぎます。

3 電力の「見える化」サービス

設備の稼働を使用電力から確認し運用を改善

系統別に使用電力量を計測・可視化することで、運用にどのような問題・課題があるかが見えます。運用見直しや設備改修に役立つデータを収集します。



選ばれる理由

当初から専任の施設管理者がいない中小規模事業所での運用を想定し開発。

